

藤枝市立青島北小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年7月1日(木)

「本物の土器に触れ、縄文時代や弥生時代に興味をもったよ。」



以前にも出前授業でお邪魔しました。今回は、縄文時代や弥生時代の土器についての講話を希望されましたが、土器の分類体験と石器の試し切り体験、火起こし体験の3つの体験をすることになりました。

それぞれの体験が30分だったこともあり、十分な体験ができたようです。当時使われていたものに触れることで、現代との違いを感じ、歴史を学ぶ意欲が高まったと思います。

◎火起こし体験

梅雨時で小雨が降るあいにくの天候でしたが、昇降口で火起こし体験を行なうことができました。初めは弾み車を回すことができずなかなか火種ができませんでしたが、慣れてくると一人一人が弾み車をリズムよく回すことができるようになり、火種を作ることができました。湿気があったので火が起こるか不安でしたが、なんとか火種から火口に燃え移り火が起きました。火が起こると歓声が沸きました。



◎石器の試し切り体験

本物の打製石器や磨製石器を触って、表面の肌触りの違いを確認することで、古代の人の知恵を知ることができ、教科書や資料集で見た写真と似ていることを実感しました。



その後、持参した野菜くずを黒曜石で切る体験をしました。黒曜石で新聞紙や堅い野菜まで切れ、石が刃物と同じであることを実感しました。

◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについての話を聞いた後、静岡県内で出土した完成土器を手に取り、とても興味深く観察していました。重さや質感、模様の違いなどをよく観察し、時代の違いを認識し、

土器片と比べました。縄文土器と弥生土器の違いは比較的わかりやすかったようですが、弥生土器と須恵器を区別するときは、違いについて意見を交わしながら時間をかけて分類していました。

